

南九州初! 「世界首長誓約／日本」に署名しました!

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて「ゼロカーボンシティ」宣言をした肝付町は、2022年9月28日に南九州で初めて「世界首長誓約／日本」に署名をしました。



【左：世界首長誓約／日本 事務局長（名古屋大学 特任准教授）の杉山範子 様】

◆「世界首長誓約」とは

2008年に欧州連合（EU）で始まり、日本、北米、南米、東南アジアなど世界各地で展開されており、日本では、2018年から取組みが開始されています。

「世界首長誓約」に取り組む自治体は、2022年5月末現在で、世界ではEUの自治体を中心に約12,000自治体が参加している状況であり、日本では2022年8月末日時点で34自治体の首長が署名しています。※肝付町は35番目の自治体となります。

「世界気候エネルギー首長誓約」いわゆる「世界首長誓約」は、持続可能でレジリエント（強靱）な地域づくりを目指し、同時に、パリ協定の目標の達成に地域から貢献しようとする自治体の首長が、その旨を誓約し、そのための行動計画を策定した上で、具体的な取組を積極的に進めていく国際的な仕組みとなります。

◆署名することで!

肝付町は、昨年7月にゼロカーボンシティ宣言を表明し、今回「世界首長誓約／日本」に署名することで、「目標設定」、「行動計画の作成・実施」、「進捗状況の報告」といった国際的な仕組みを実行し、さらに脱炭素社会の実現に向けた取組みを推進することが期待できることから、今回誓約書に署名いたしました。

◆誓約書の内容

肝付町は、世界気候エネルギー首長誓約のメンバーである「世界首長誓約／日本」の誓約書に署名し、持続可能でレジリエントな地域づくりを目指すとともに、パリ協定の目標達成に貢献し、次の事項を誓約します。

- ① 持続可能なエネルギーの地産地消を推進します。
- ② 2030年の温室効果ガス排出量は国の削減目標以上の削減を目指します。
- ③ 気候変動の影響などに適応し、レジリエントな地域づくりを目指します。

